

長田弘『世界はうつくしいと』テスト対策練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前
---	---	---	----

問1 「世界はうつくしいと」の作者を漢字で書きなさい。

問2 「世界はうつくしいと」の詩の形式を漢字5字で書きなさい。

問3 詩の中で「うつくしいと。」という言葉が何度も繰り返されている。このような表現技法を漢字3字で答えなさい。

問4 「～はうつくしいと。」の後には、ある言葉が省略されていると考えられる。どのような言葉か、詩の中から3字で抜き出して答えなさい。

問5 「一体、ニュースとよばれる日々の^{はへん}破片が、わたしたちの歴史と言うようなものだろうか。」という一文には、「～だろうか。（いや、そうではない）」という強い思いを表す表現が含まれている。この表現技法を漢字2字で答えなさい。

問6 作者は、「ニュースとよばれる日々の^{はへん}破片」と反対の意味を持つ言葉を並べること（^{たいひ}対比）で、日常の^{とうと}尊さを^{きょうちよう}強調している。「ニュースの破片」と対比されている言葉を、詩の中から8字で抜き出しなさい。



問7 「風の匂いはうつくしいと。」という表現は、人間の「五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）」のうち、何を使って感じているものか答えなさい。

問8 「遠くの低い山並みの静けさはうつくしいと。」や「なにげない挨拶はうつくしいと。」という表現は、人間の「五感」のうち、何を使って感じているものか答えなさい。

問9 「ためらわず口にすることを」の「ためらわず」の意味として最も適切なものを、次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：考え込んで
- イ：迷うことなく
- ウ：恥ずかしそうに
- エ：大急ぎで

問10 「塵^{ちり}にかえる」とは、どのようなことの象^{しょう}徴^{ちゆう}（例え）として使われているか。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：部屋が汚れてしまうこと
- イ：人々の記憶から忘れ去られてしまうこと
- ウ：命あるものが死んで自然に還^{かえ}っていくこと
- エ：永遠に生き続けること

問11 「シュロの枝を燃やして、灰にして、撒く。」とは、どのようなことを表す例として書かれていると考えられるか。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

- ア：古いものを捨てて新しくやり直すこと
- イ：植物を大切に育てて増やしていくこと
- ウ：世界中の宗教の歴史を学ぶこと
- エ：命あるものが灰になって自然に還^{かえ}っていくこと



問12 作者が考える「うつくしい世界」に含まれるものとして、最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：ニュースになるような大事件

イ：私たちの身の回りにある何気ない人間の^{いと}営み

ウ：誰の目にも触れない遠く離れた外国の景色

エ：時間が経っても永遠に変わらないもの

問13 作者はなぜ、漢字の「美しい」ではなく、ひらがなの「うつくしい」を使ったと考えられるか。最も適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：中学生や子どもたちにも読みやすくするため

イ：昔の詩人が使っていた言葉づかいを真似るため

ウ：見た目が綺麗という^{げんていてき}限定的な意味だけでなく、心惹かれるものや^ひ尊いものなど広い意味を含ませるため

エ：口語自由詩の文字数のルールに合わせるため

問14 詩の最後で、作者はなぜ「世界はうつくしい」と考えているのか。その理由が書かれている部分を、詩の中から28字（句読点を含む）で抜き出ささい。

問15 この詩を通して、作者が最も伝えたい思い（^{しゅだい}主題）とはなにか。適切なものを次の中から選び○で囲みなさい。

ア：言葉に出すことをためらわず、永遠ではないからこそ^{かち}価値がある日々のあざやかな毎日をうつくしいと言おう。

イ：自然の風景だけが本当にうつくしいものなので、私たちは言葉に出して環境を守るべきだ。

ウ：ニュースになるような大事件を毎日しっかりと見て、私たちの歴史を学んでいくことが大切だ。

エ：人間はいつか塵にかえってしまうのだから、永遠の命を手に入れるために日々努力するべきだ。



長田弘『世界はうつくしいと』 テスト対策練習問題と過去問まとめ（解答）

問1 長田弘

【解説】^{おさだひろし}長田弘さんは、日本の詩人であり、^{じどうぶんがく}児童文学作家や^{ほんやくか}翻訳家としても活躍したよ。

問2 口語自由詩

【解説】「世界はうつくしいと」は、今の話し言葉である「口語」で書かれている。さらに、五・七・五のような文字数に決まりのない「自由詩」である。

問3 反復法

【解説】同じ言葉やフレーズを繰り返すことで、リズムを作り、作者のメッセージを読み手に強く印象づける表現技法。

問4 言おう

【解説】詩の前半と後半に「うつくしいものをうつくしいと言おう。」とあることから、「言おう」が省略されていると考えられる。読者に想像させ、余韻を残す「省略法」という表現技法が使われているよ。

問5 ^{はんご}反語

【解説】疑問の形をとりながら、実は強い否定の気持ち（自分の本当の主張）を伝える表現技法。読者に考えさせるための問題提起^{ていき}にもなっているよ。

問6 あざやかな毎日

【解説】特別な大事件である「ニュースの破片」と、何気ない日常である「あざやかな毎日」が対比の構造になっているよ。



問7 嗅覚

【解説】「匂い」は鼻で感じるものなので「嗅覚（きゅうかく）」だね。

問8 聴覚

【解説】「静けさ」や「挨拶（の声）」は耳で感じるものなので「聴覚（ちょうかく）」だね。作者の考える「うつくしいもの」は、目で見る（視覚）だけではないことがわかるね。

問9 イ

【解説】「ためらう」は「迷う」「躊躇^{ちゅうちよ}する」という意味。「ためらわず」なので、「迷ったりためらったりすることなく」という意味になるよ。

問10 ウ

【解説】命あるものは永遠ではなく、いつか死んで土（自然）に還るという、命の終わりの象徴として書かれているよ。

問11 エ

【解説】「シュロ（ヤシ科の植物）」を燃やして灰にするキリスト教の行事を例にして、命が永遠ではなく、自然へ還っていく（巡っていく）ことを表していると考えられるよ。

問12 イ

【解説】作者は、自然の風景だけでなく、「なにげない挨拶」や「老いてゆく人の姿」など、身近な人間の営み（あざやかな毎日）も「うつくしい」と考えているんだ。

問13 ウ

【解説】漢字の「美しい」だと、風景が綺麗だったり、見た目が整っていたりするイメージが強くなる。意味を限定せず、柔らかくて広がりのあるひらがなを選んだと考えられるよ。



問14 何ひとつ永遠なんてなく、いつかすべて塵にかえるのだから、

【解説】永遠に続かないからこそ、今この瞬間の「あざやかな毎日」が尊くて、うつくしいんだという作者の深いものの見方が表れているね。

問15 ア

【解説】作者の伝えたいことは大きく2つ。「言葉に出して伝えることの大切さ」と、「永遠ではない（いつか塵にかえる）からこそ、日々のあざやかな毎日に価値がある」ということだよ。

